

今後のスケジュール

平成 27 年度（2015）の「奈良のシカ保護管理計画」の策定に向けて、適正且つ実践的な保護管理を行っていくために、奈良のシカ保護管理計画検討委員会では以下の点について議論を深めていくとともに、農家への防鹿柵の設置など、具体の事業を展開していくこととする。

1. 奈良のシカ保護管理計画検討委員会での主な検討事項

■ 理念及び方針の設定

- ① 奈良公園の魅力を構成する重要且つ不可欠な要素である「奈良のシカ」を保護するために、公園平坦部、春日山原始林、背後の森林・農地を含めた自然環境を一体的に保護管理するあり方を検討する。

■ 調査検討の充実

- ② 奈良のシカの生育条件や生息環境、行動圏等に関する知見や蓄積を踏まえ、人（公園利用者、近隣住民、農林業者等）との適切な距離感（天然記念物奈良のシカの指定範囲と区域区分等）を明らかにするための調査を実施し、基礎情報を充実する。

■ 緊急を要する課題への対応

- ③ 今日的な課題である、奈良のシカによる様々な「被害」（原始林植生への影響、周辺農作物への被害、人間行動との接触事故等）を軽減するため、人とシカとこれらを取り巻く自然的環境の調和を図る具体の方策（防鹿柵の設置等）を検討し、実施する。

■ 保護管理の仕組みづくり

- ④ 奈良のシカの保護管理は、管理者のみならず奈良公園の魅力を享受する地域住民、来訪者、ひいては全国民の課題であり、今後、具体の保護管理を着実に実施できるように新しい枠組み及びその執行体制について検討する。

■ 合意形成

- ⑤ 新たな仕組みづくりの形成には、費用負担、技術的支援、実作業の実施体制など、広汎で多様な主体や関係者が参画・連携できるよう合意形成を図る。

■ 普及啓発

- ⑥ 本検討の成果を、広く県民・国民に公開し共有を図れるよう、シンポジウム等の様々な機会を通じ、天然記念物奈良のシカの魅力を広く発信するとともに、古都奈良、世界遺産と併せ価値を高められるよう普及啓発を図る。

2. 現在想定しているアウトプット

○保護管理基本方針の策定

○農家への防鹿柵の設置（文化庁補助事業）

○実施計画の決定（餌付け禁止条例の制定、柵の効果的な設置、実証実験）

○市民の合意形成（シンポジウム開催）